

進捗状況

1.ガバナンスの改革と推進

- コンプライアンス意識とガバナンスの浸透を目的とし、重要リスクの一つとして「ソフトウェアライセンス」をテーマとした事例研究会を実施中(1.(1)-b, 1.(4)-b)
- トップメッセージの配信など、頻度・質を強化した従業員へのメッセージ発信を継続的に実施(1.(3)-a)

2.リスク管理体制の強化

- 2023年度新体制でのリスク管理委員会の運営を開始し、今期基本方針と年間活動計画を合意。リスク管理活動の実効性向上に向けた活動を継続(2.(2)-c)
- 内部統制強化協議会との連携は、同協議会を再編し2022年4月に設置したガバナンス・企業文化諮問委員会との間で連携を継続(2.(2)-e)

3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化

- 業務執行体制強化のため会議体の見直しを実施。中期経営計画および本部・子会社戦略の執行推進を目的に、従来の本部長会議を中計推進会議に発展。また、内部統制システムの整備・運用に関する重要課題を重点的に推進する業務統制会議を新設(3.(1)-a, 3.(2)-a)

4.監査体制の抜本的な見直し

- 2023年度内部監査方針・計画に基づき、組織別内部監査、フォローアップ内部監査を開始(4.(1)-b)
- 2024年3月期も監査等委員会施策である取締役・内部監査室との定期意見交換、不正事案に対する研修への参加を継続的に対応中(4.(4)-a/b/c)

5.従業員の声を集める仕組み

- 匿名でも双方向のコミュニケーションを可能とする「内部通報プラットフォーム」の本番運用を開始し、従業員からの通報・相談へ対応中(5.(1)-a)
- 第三者を窓口とする目安箱について、機能と役割を再定義し、課題を効果的に抽出するための改善案を策定。運用開始に向け準備中(5.(2)-a)

6.組織文化の改革・形成

- 全社会議での経営陣によるトークセッションを全社に配信(1.(3)-a)
- 2023年度の企業文化改革活動体制準備を開始(6.(2)-a)
- ビジョンブックを改訂し、全社周知(6.(2)-c)
- 新理念体系を踏まえた行動宣言をもとに上司と個別面談（One On One）を継続して実施(6.(2)-e)

7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙

- 2022年度下期の会計リテラシー向上・会計知識教育STEP2は全て完了。2024年3月期に向けて計画を策定中(7.(1)-a)
- 失敗事例からの学びに関する業務ルール説明会やワークショップ、失敗事例の共有を継続して実施(7.(3)-a)

8.モニタリング体制の継続

- 2023年3月期の施策をモニタリングしつつ、継続的な内部統制システムの強化に繋がる調査計画を検討中(8.(2)-a)